

日本・ポーランド外交樹立100周年記念事業

ポーランドのアマレヤ劇団と

アイヌ女性たちの現代舞踏劇

SDC2019 “HOME” ワークインプログレスとの同時開催

AMAREYA + AINU

ポーランド人の文化人類学者と
樺太アイヌの女性
その出会いと別れ
100年前の衝撃が
現代に蘇る

WOMEN

2019.9.28 Sat.

場所：コンカリーニョ

(札幌市西区八軒一条西1丁目2)

1回目：13:30～ (開場13:00)

2回目：18:30～ (開場18:15)

前売券 2,000円 当日券 2,500円

小学生以下無料、中高生1,000円

チケット取扱：ローソンチケット(12786)

カルテットオンライン専用予約フォーム

[URL] cemipos.blogspot.com (CEMiPoS)

Photo: Matti Aikio



ポーランド、アマレヤ劇団とアイヌ女性の共演



Photo: Piotr Wyszomirski



Photo: Krzysztof Fabiański

ワークショップのご案内

札幌市民との交流も深めるため、リハーサルの合間にアマレヤ劇団のメンバーによるワークショップを計画しました。

ダンス・演劇ワークショップでは心身統一法をベースに、現代ダンスや身体演劇の技法を用い、身体、ムーブメント、そしてダンスの即興を行います。音のワークショップでは風景がもつ音の層を発見し、音を深くとらえることを学びます。なお、講師のカタルジーナとアレクサンドリアはアマレヤ劇団の創設者であり、グダンスク大学で教鞭をとる研究者でもあります。またナタリアは歌手、パフォーマンス、ビジュアルアーティストとして活躍中です。

参加ご希望の方は自由学校「遊」へ。

場所：愛生館サロン（愛生館ビル6F）

札幌市中央区南1条西5丁目

（申込・問合せ先：TEL.011-252-6752 さっぽろ自由学校「遊」）

9月17日 18:00～21:00 ダンス・演劇ワークショップ

9月18日 18:00～21:00 音のワークショップ

参加費はいずれも1,000円

主催：アイヌ／アマレヤ公演実行委員会
（アマレヤ劇団、アイヌ女性会議メノコモシモシ
CEMIPOS、さっぽろ自由学校「遊」、羊屋白玉、mediagres）

協力：コンカリーニョ

後援：ポーランド文化・歴史遺産省、札幌市

問合せ先：tel. 090-3898-8408（丸山）

アマレヤ劇団は、2003年にカタルジーナ・バストゥツアックらを中心にポーランドのグダンスクで結成され、その後15年間にわたり、物語、ダンス、歌、音楽、ビデオなどを織り交ぜた独自の舞台をつくり、ポーランド、日本、欧州などの観客を魅了してきました。

2017年に札幌での国際先住民族芸術ワークショップでアイヌ女性と出会って以来、ポーランドの国民的民族学者プロニスワフ・ピウスツキーが愛したアイヌの人々との交流を受け継ぎ、アイヌとポーランドの二つの文化の懸け橋になりたいと考えてきました。今年は日本とポーランドの国交樹立100年にあたり、それを記念して、舞踏や現代ダンスに加えてアイヌとポーランドの伝統的な歌や踊りを取り入れた公演を行うことになりました。

さっぽろだんすこれくていぞう Sapporo Dance Collective (SDC)

今回の公演は、SDCとの同時開催です。SDCは昨年第一作品につづき、今年も指輪ホテル芸術監督の羊屋白玉さんをディレクターとして迎えます。今年のタイトルは昨年に引き続き、HOMEです。昨年はみんなで一つの作品に取り組みましたが、今年はいくつかのグループに分かれてオムニバス形式で作品を作り、発表します。今回は2019年度第1回のワークインプロGRESSです。



生活支援型文化施設 コンカリーニョ

札幌市西区八軒1条1丁目 ザ・タワープレイス 1F
（JR 琴似駅直結） tel. 011-615-4859

Ministry of
Culture
and National
Heritage of
the Republic
of Poland.

本公演の実施にあたり、ミツキエピッチ研究所の「文化の橋」助成プログラムのもと、INDEPENDENT 2017-2022の一環としてポーランド文化省からの出資を受けています。

CULTURE

ADAM
MICKIEWICZ
INSTITUTE

airopodstepa